

# 家庭学習の推進について

ギガタブを活用したこれからの家庭学習 その1

家庭用

## ■ なぜ家庭学習が必要なの？

家庭学習とは、児童生徒が家庭で、自主的に学習（宿題を含む）を進めることを意味します。家庭学習は、基礎的・基本的な知識及び技能の習得だけでなく、学び方を学び、将来に活用できる力を育むために有効です。

基礎的・基本的な知識  
及び技能の習得



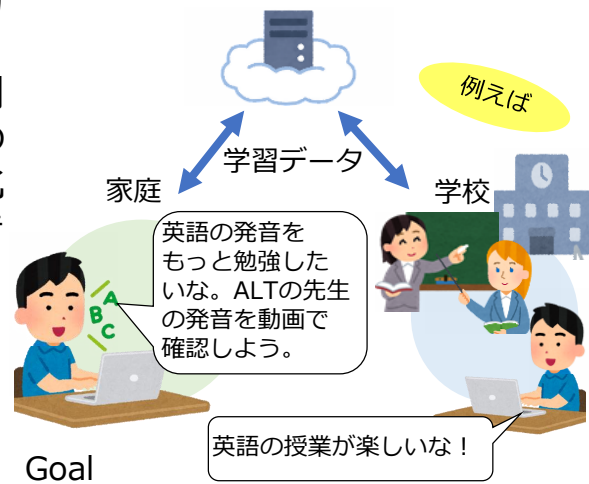
主体的に学習に取り組む態度

自制心、粘り強くやり抜く力  
などの育成

## ■ なぜ家庭学習でギガタブを使うの？

家庭学習を推進する一つのツールとしてギガタブを積極的に活用します。

児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等にあった学習（「個別最適な学び」）の実現を目指します。学校と家庭の学びを一体化させ、段階的に家庭でギガタブを活用していきます。



Goal

### 個別最適な学びの実現

自分で目標を持ち、自己調整を図りながら、やりがい（学習が面白い、楽しい、好き）をもって学習できる。

Step 3

### 主体的な活用

自分の興味や関心に応じて、自分に合った学習ができる。

Step 2

### 効果的な活用

学習の目的に応じて、家庭でも効果的にギガタブを活用した学習ができる

Step 1

### 持ち帰りの定着

家庭でも、日常的にギガタブを活用した学習ができる。

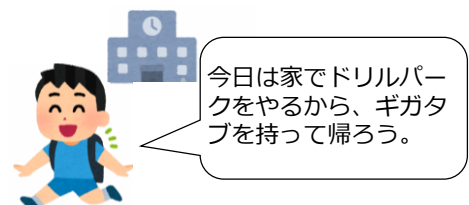
Step 3



Step 2



Step 1



## ■ ギガタブを家庭で活用すると、どんな学習ができるの？

### すでに行われている課題の例

- 一人一人の理解度に合わせてデジタルドリルの課題
  - 教師が演示した動画(ダンス、実験等)を家庭で視聴
  - 自分の実技(リコーダー、歌唱等)の録画
  - ブラウザ上でのキーボードのタイピング練習
  - 情報モラル教育についての課題
- など

### 今後可能になる学習の例

- 学習者用デジタル教科書(英語)を活用した授業の復習(小学校5, 6年生、中1~3年生で導入)
- デジタル教材を活用して、児童生徒一人一人の興味、能力にあわせた学習



## ■ 家庭学習でのギガタブ活用推進のために

### 学校では

- ① 児童生徒に対して、家庭学習の目的を伝えるとともに、ギガタブを活用した課題に取り組ませるようにしていきます。
- ② ギガタブの適切な使い方や、情報モラルに関する指導を児童生徒に行っていきます。
- ③ 児童生徒がギガタブを持ち帰る際は、ギガタブ以外の携行品に係る重さや量を配慮します。置き勉も可能であることを児童生徒、保護者と共有していきます。

### 家庭では

- ① 子供の頑張りを認め、課題に取り組んでいることを褒めてあげてください
- ② 「ギガタブの使い方ルール」を基に、家庭での活用について、話し合う場面を設けてください。
- ③ ギガタブの家庭での充電をお願いします。また、家庭での通信環境の整備にご協力をお願いします。通信環境が整わない場合は学校へご連絡ください。

### 今後の予定

### 家庭学習でのギガタブ活用推進に向けて

- |    |   |
|----|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ギガタブの使い方ルール」(内容を一部追加・修正)の配付</li> <li>健康面への配慮、情報モラル、個人情報、置き勉、充電について、同意書などについて、ご確認をお願いします。</li> <li>・Wi-Fi環境の整備について</li> <li>令和5年度より、アフタースクール、子どもルームのWi-Fi環境の整備を順次進めていきます。</li> </ul>  |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ギガタブを活用したこれからの家庭学習について その1」(本資料)の配付</li> <li>各家庭で家庭学習の目的やギガタブの活用についてご確認をお願いします。</li> <li>・「夏季休業中のギガタブの持ち帰りと活用について」(発出予定)</li> <li>学校からの課題も含めて、夏季休業中も家庭でギガタブを効果的に活用してください。</li> </ul> |